



かんたんスチームオーブンレンジ

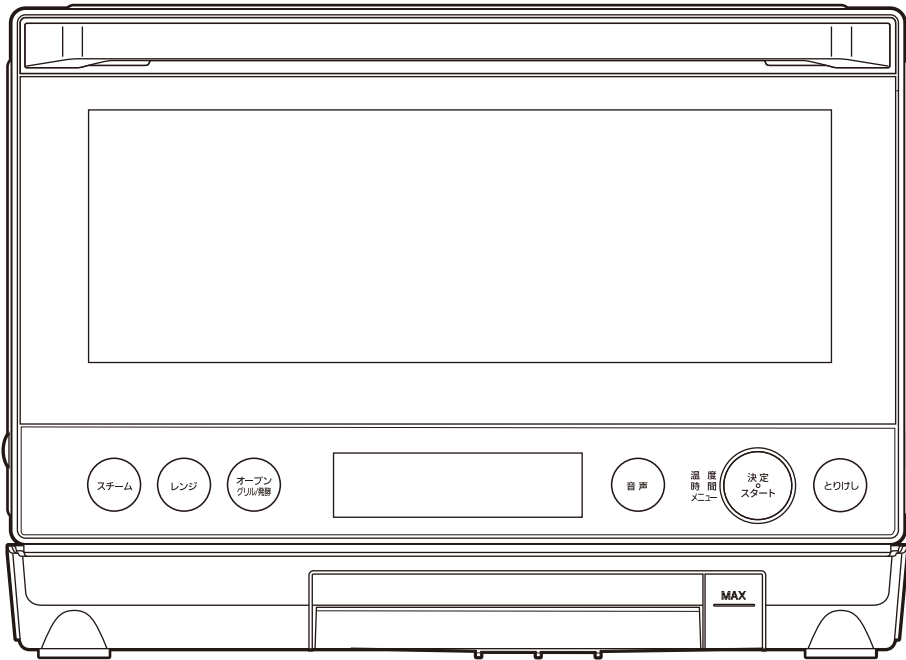
HC-TS231-WH

取扱説明書

本製品は家庭用です。不適切な取り扱いが事故につながりますので、初めて使用する際は必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、適切な取り扱いをお願いいたします。この取扱説明書は大切に保管してください。

保証書付

(裏表紙)



※取扱説明書中のイラストは実際の商品と異なる場合があります。

もくじ




●安全上の注意	2～6	●手動メニュー レンジ	32～33
●設置について	7	●手動メニュー オープン	34～37
●加熱の仕組み	8	●手動メニュー グリル	38～39
●使える容器・使えない容器	9～10	●手動メニュー 発酵	40～41
●各部の名称	11～13	●手動メニュー スチーム	42
●準備	14～15	●お手入れについて	43～45
●使い方の基本	16	●故障かなと思ったら	46～47
●自動メニューについて 1～10	17	●仕様	48
●自動メニューについて 11～77	18～19	●アフターサービス	49
●自動メニュー 1～10	20～30	●保証書	50
●自動メニュー 11～77	31		

安全上の注意 必ず守ってください。




ご使用前に次の「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人体への危害や物的損害を未然に防止するためのものです。

※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが予想される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	 警告	 注意
取り扱いを誤った場合、重傷を負ったり死亡する危険があります。	取り扱いを誤った場合、重傷を負ったり死亡する可能性があります。	取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり物的損害が発生する可能性があります。

図記号の例







 △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容(上図の場合は感電注意)が描かれています。	 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。	 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な指示内容(上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。
--	---	--

○お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

危険

 禁止 吸排気口や穴などに、ピンや針金などの金属物や異物を入れない 感電・ケガ・故障の原因になります。	 分解禁止 分解・修理・改造をしない 火災・感電の原因になります。 修理はお買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。
--	---

警告

 禁止 電源コードをキズつけたり、無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、はさみ込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 交流 100V 15A 以上 電源は交流100Vを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります。
 禁止 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火の原因になります。
 禁止 電源プラグに金属やごみを付着させない 感電やショート、発煙・発火の原因になります。	 禁止 水のかかるところや、火気の近くでは使用しない 感電や漏電の原因になります。

警告



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やケガをするおそれがあります。



プラグを抜く

使用時以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

ケガややけど、絶縁劣化による感電・ショート・火災の原因になります。



プラグを抜く

異常・故障時には、直ちに使用を中止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または「トップバリュお客さまサービス係」に相談してください。

【異常・故障例】

- 使用中、電源プラグやコード・本体が異常に熱くなる。
- 煙が出たり焦げくさいニオイがする。
- 自動的に切れないときがある。
- 使用中ときどき電源が切れる
- スタートしても加熱しない。
- ドアに著しいガタがある。
- ドアや庫内に著しい変形がある。
- 触れるとピリピリと電気を感じる
- その他の異常や故障がある。



禁止

加熱時の破裂や発煙発火を防ぐために

- 卵（生卵やゆで卵）などはほぐしてから加熱してください。
- フタのあるものは、フタをはずしてください。
- 膜や殻のあるものは、切れ目や割れ目を入れてください。
- アルミ箔・金属製食器や金箔などの装飾食器は加熱しないでください。
- 袋入りの食品は袋から取り出して加熱してください。また、脱酸素剤などは取り出してください。
- ビンや缶詰めは、耐熱容器に入れ替えてください。



禁止

子供だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しない。

感電やケガ、やけどのおそれがあります。



お手入れは本体が冷えてから行う

やけどのおそれがあります。



禁止

壁や家具の近くや周囲に熱がこもる環境で使用しない

熱や蒸気で変形・変色、火災の原因になります。キッチン用収納などで使用するときは蒸気がこもらないように注意してください。



禁止

不安定な場所や、熱に弱いテーブルなどで使用しない

じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上でも使用しないでください。熱で変形・変色や火災の原因になります。



禁止

- 火気の近くでは使用しない
- 上に液体の入った容器を置かない
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）可燃性のもののそばで使用しない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない

火災の原因になります。



必ず守る

設置の際は、アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電する原因になります。
※アース取り付けは P7 を参照してください。



必ず守る

庫内に付着した食品カスや油は必ず拭き取る

そのまま加熱すると、発煙・発火や故障の原因になります。定期的にお手入れし、庫内を清潔に保ってください。

注意



食品や飲料を加熱しすぎない

食品が発煙発火したり、突然沸騰してやけどの原因になります。

- 飲み物(水・牛乳・酒・コーヒーなど) やとろみのある食べ物(カレー・シチューなど) 油脂の多いもの(生クリーム・バターなど) は設定時間を控えめにしてください。
- 粉末のコーヒーなどは、加熱する前にスプーンなどでかきまぜてください。
- 飲み口の広いカップなどに入れてください。
- 突沸しやすいものなどを加熱し過ぎた場合は、しばらく冷ましてから取り出してください。
- 少量の加熱時、水分の少ないもの、油がついたもの、高温になりやすいもの、イモなどの根菜類の加熱には注意してください。

禁止



高温注意

ラップをはずすときは、ゆっくりはずす

蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。



禁止

食品が発煙・発火した場合は扉を開けない

食品が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまでトビラを開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。



接触禁止

高温になっている部分に触らない

加熱中や加熱後しばらくは、フラットテーブル、ドア、キャビネット、庫内、排気口に触れないでください。食品の出し入れは、乾いたミトンなどを使用してください。



禁止

衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使わない

発煙発火や故障の原因になります。



禁止

- 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
- 扉が損傷したら使用しない

誤動作したり、感電や電波漏れのおそれがあるので使用を中止して、お買い上げの販売店または「トッパリユお客さまサービス係」に相談してください。



禁止

- 扉にものをはさまない
- 扉にぶら下がったりして無理な力をかけない

誤動作したり、電波漏れにより人体に被害をおよぼす可能性があります。



禁止

肩より高い位置に設置しない

食品を取り出すときに不安定になり、食品やガラス扉に触れやけどのおそれがあります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



必ず守る

ベビーフードや介護食をあたためるときは加熱後によくかき混ぜて温度を確認する

やけどのおそれがあります。



必ず守る

食品に記載されている加熱時間内で使用する

食品を過度に加熱すると、発煙・発火する危険性があります。加熱時間がわからないものは、温まり具合を確認しながら少しずつ加熱してください。



禁止

さつまいもや中華まんなどの加熱時間は、取扱説明書で確認し、長めにしない

長時間加熱すると爆発し燃焼する危険性があります。



必ず守る

調理中はその場を離れず、庫内の様子を確認しながら使用する

発火・発熱を早期に見つけまたは未然に防ぐため、調理中はその場を離れず、必ず庫内の様子を見ながら加熱してください。



禁止

本商品の周囲には、可燃物を置かない

火災の原因になります。また、万一の発火の際に被害拡大につながる危険があります。



必ず守る

冷凍食品などは、包装の表示を確認してから加熱する

⚠ 注意



加熱時間を長くしない

食品を必要以上に加熱しすぎると、庫内で食品が発煙・発火するおそれがあります。様子を見ながら加熱してください。

必ず守る



調理以外の目的に使用しない

発煙・発火・破裂・やけどなどの原因になります。

※下記についても、調理以外の使用例となります。

- ・湯たんぽの加熱
- ・おしぼりの加熱、乾燥
- ・哺乳瓶の消毒

禁止



本体の上に物を置かない

加熱され焦げたり変形するおそれがあります。

禁止



水平で丈夫な場所に置く

不安定な場所に置くと振動・騒音、落下の原因になります。

禁止



異常を感じたらすぐに使用を中止する

タイマーが効かない、異音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止してください。異常加熱により発煙・発火する危険性があります。

必ず守る



熱気や蒸気が出るものの近くに置かない

ガスコンロなど、高温になる器具からは、できるだけ離してください。機能が低下し、故障の原因にもなります。また、水や蒸気のかかる場所からも離してください。

禁止



テレビ・ラジオ・無線機器(無線LANなど)・アンテナ線から4m以上離す

テレビ・ラジオなどに雑音が入ったり、映像の乱れ、通信エラーの原因になる場合があります。

必ず守る



万が一の地震に備えて

地震により本商品が転倒・落下し、ケガの原因になることもありますので、転倒・落下防止の処置をおすすめします。

必ず守る

⚠ 注意



「突沸現象」に注意

飲み物や、油脂分の多い液体は加熱しすぎた場合、突然沸騰して飛び散る(突沸現象)ことがあります、やけどの原因になりますので注意してください。

【突沸現象】とは

液体が沸点を超えても、沸騰を起こさない状態(ブクブクと泡が出てこない)になる場合があります、これを過熱状態といいます。過熱状態にある液体になにかしらのショック(振動やインスタントコーヒーの粉末や砂糖の投入など)が加わると、突然に沸騰が激しく起こり、この現象を「突沸」といいます。

「突沸」の事例として挙げられるのは、水、牛乳、豆乳、お酒、コーヒ、スープ、味噌汁などですが、その他の飲み物や食べ物でも発生する可能性があります。

なお、「突沸現象」は、電子レンジのみで起こる現象ではなく、お鍋で味噌汁のあたため直しをしたら、急に蓋が吹き飛び、中の具と共に飛び散る事例もあります。

突沸現象は、常に発生する訳ではなく、いくつかの条件の組み合わせが重なった場合にごく稀に発生する現象ですが、下記の予防法を心がけて加熱を行ってください

- ・加熱しすぎないでください。
- ・開口部が小さい容器は特に注意をはらってください。
- ・小さなカップ・マグカップを使用するときも注意してください。
- ・飲み物はスプーンなどで加熱前にかき混ぜてください。
- ・加熱しすぎた場合は、少し時間(1~2分間)をおいてから庫内から取り出し、かき混ぜてください。
- ・沸騰した液体を取り出すときは十分注意してください。



「破裂」に注意

破裂による飛び散りや衝撃による庫内底面やヒーター割れなどでケガややけどのおそれがあります。

殻付き卵やゆで卵は電子レンジで加熱しないでください。

殻付き卵【ゆで卵・生卵】は殻の一部に強い圧力がかかかって破裂します。

殻をむいたゆで卵や目玉焼きの再加熱でも破裂します。

生卵の黄身(殻を割った状態)のままでも破裂する場合があります。

卵調理器具を使用してのゆで卵や目玉焼きもしないでください。

くりや銀杏などは殻付きのまま加熱しないでください。殻が破裂します。

設置について

●丈夫で安定した水平な場所に置いてください。不安定な場所に置くと、落下・転倒して故障やケガの原因になります。

●本体と壁・家具・カーテンなどの間は右図に示す距離以上あけてください。

●吸気口・排気口をふさがないでください。

●窓ガラスがある場合は、排気口から20cm以上離してください。温度差により割れる場合があります。

●製品の上にものを置かないでください。

●テレビ・ラジオ・アンテナ線から4m以上離してください。映像が乱れたり、雑音が入るおそれがあります。

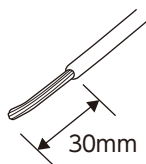
●水蒸気が後方より出力されるため、後方の壁が木材や壁紙である場合は、変形や湿りによる剥がれやひずみを生じることがありますので、後方への水蒸気の影響を受けない程度にすぎ間を取ってください。

●商品の近くは無線LAN機器の通信性能が低下することがあります。
無線LAN機器の取扱説明書をお読みの上使用してください。

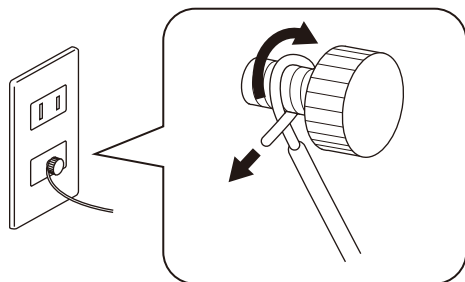
●アースを取り付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

【アース付きコンセントがある場合】

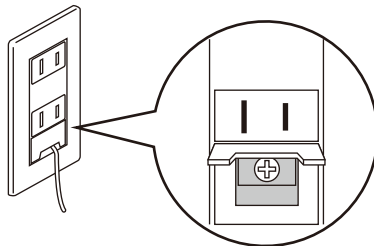
①アース線の先端を切断して30mmむき出しにしてください。



②アース専用端子に確実に固定してください。



※フタ付きの場合は、フタを開けてつないでください。



【アース付きコンセントがない場合】

お買い上げの販売店や電気工事店に相談し、アース工事を実施してください。

※ガス管、水道管、電話線、避雷針のアースには接続しないでください。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種設置工事）が義務付けられています。

- ・湿気が多い場所
- ・水気のある場所
- ・コンクリートや土間、貯蔵室、湿気が多い台所など
- ・洗い場などの水を扱うところや水滴が飛び散るところ、地下室などの結露しやすい場所

加熱の仕組み

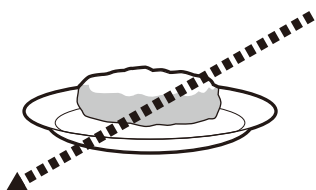
本商品は、レンジ加熱とヒーター加熱（オープン・グリル）の機能を持った調理器です。それぞれの機能を単独で使用できる他、自動メニューではこれらを組み合わせて適切な加熱方法で調理します。

■レンジ加熱

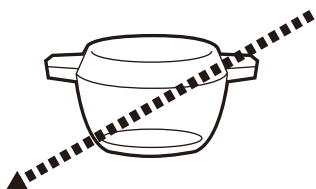
庫内に電波が放射されると、食品に含まれる水分子に吸収されます。



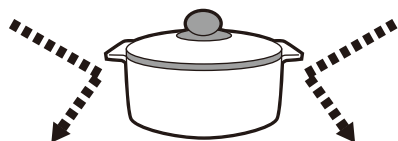
水分のある食品は電波を吸収します。



水分が凍っていると電波が吸収されにくくなります。



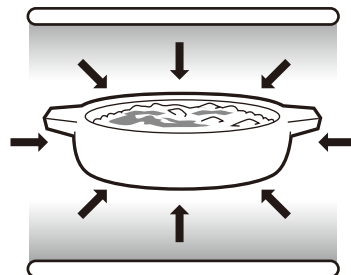
ガラス容器、陶器などは電波が透過し、吸収されません。



金属製の器は電波を反射します。
(火花が出ることがあります。)

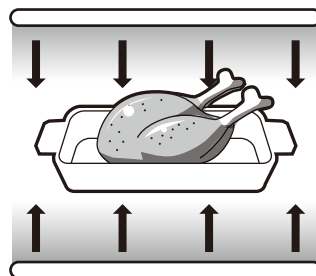
■ヒーター加熱

上下にあるヒーターで、庫内の温度を一定に保ちじっくり焼き上げます。中までよく火を通したいときに使用します。



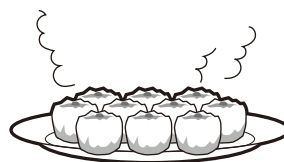
■ヒーター加熱（グリル）

上下にあるヒーターで、高温で一気に焼き上げます。火の通りやすいものや、表面に焦げ目をつけたいときに使用します。

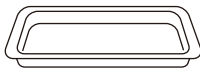


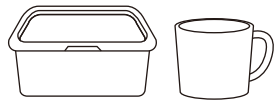
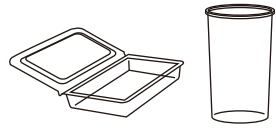
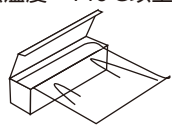




■スチーム加熱

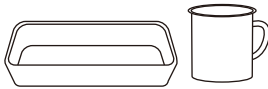
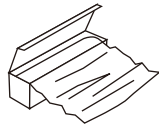
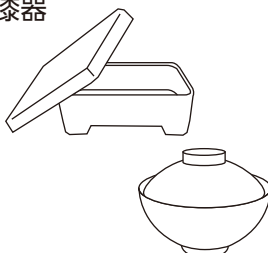
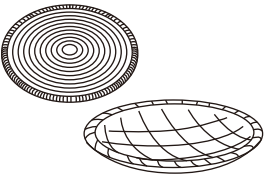
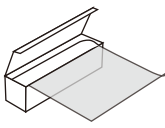
蒸気で加熱します。蒸し調理や、レンジ加熱と併用して、ふっくら仕上げるときに使用します。



使える容器・使えない容器

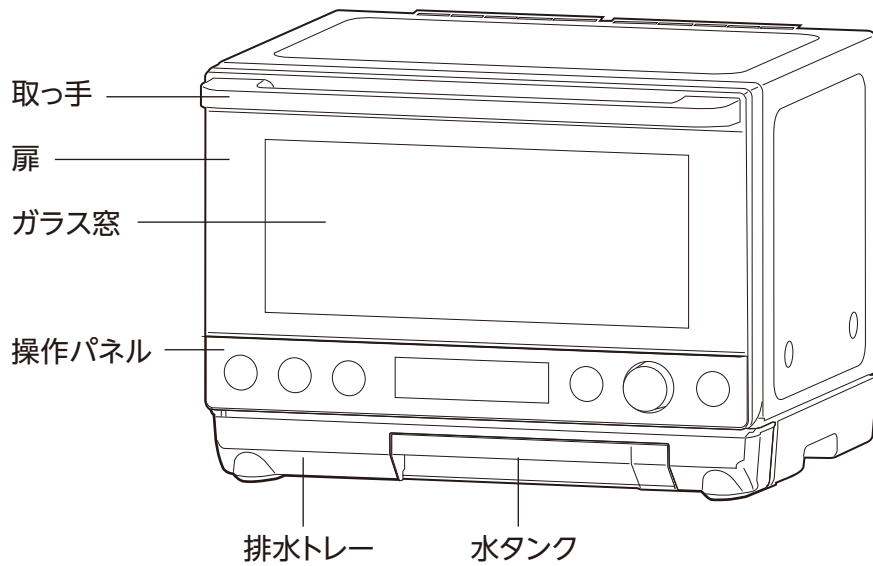
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)	スチーム加熱
付属の角皿 		× 使えない ・放電・火花・発火の原因になります。	○ 使える	
ガラス	耐熱性がある 	○ 使える ・ただし急熱・急冷すると割れることがあります。		
	耐熱性がない 	× 使えない ・カットグラス・強化ガラスも使えません。		
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使える ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・金属ねじを使用しているものは使えません。放電・火花・発火の原因になります。 ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。	× 使えない ・ただしオープン調理で設定温度が耐熱温度以下であれば使えます。	○ 使える
	耐熱性がない (耐熱温度：140℃未満) 	× 使えない ・耐熱性容器でも、フタは耐熱性でないことがあるので確認してください。 ・熱で変形するものも使えません。(スチロール・ポリエチレン (PE) など) ・ただし、レンジ加熱の解凍やオープン加熱の発酵などでは使えます。		
	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	○ 使える ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるので使えません。	× 使えない ・ただし、オープン加熱の発酵では使うことができます。	○ 使える
陶磁器	耐熱性がある 	○ 使える ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	○ 使える ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	
	耐熱性がない 	・金銀模様・絵柄・ひび模様のある器は、火花が出たり傷んだりすることがあるので使えません。	× 使えない	× 使えない ・水分がしみこんでひび割れなどの原因になることがあります。

使える容器・使えない容器

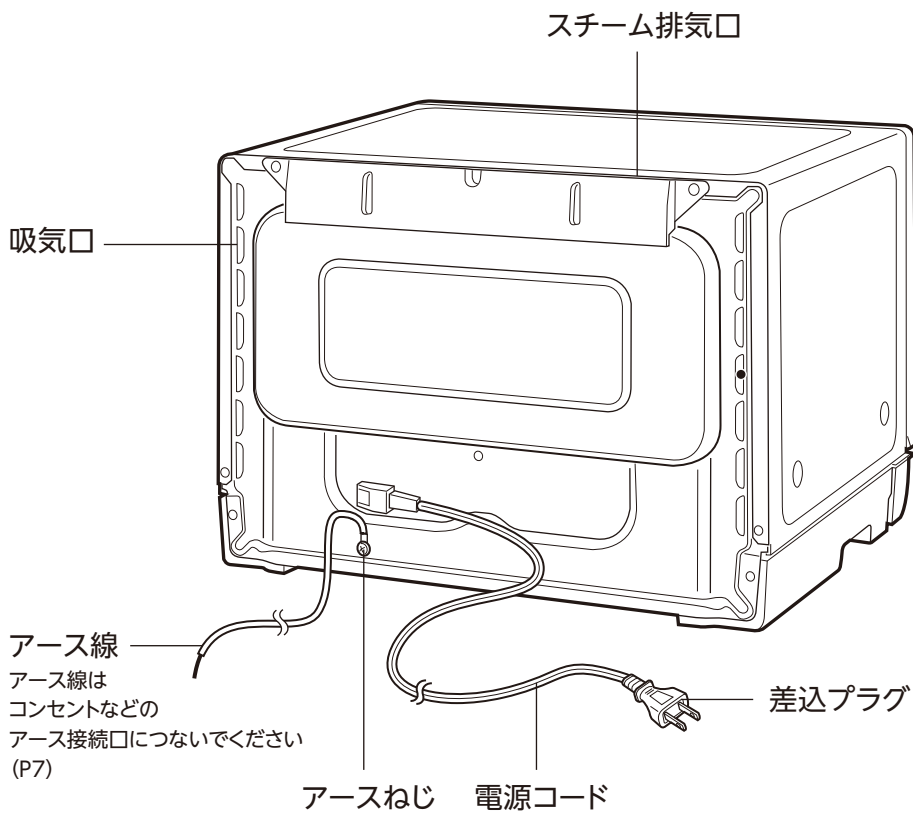
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (オープン・グリル)	スチーム加熱
金属	アルミ・ほうろうなどの 金属容器 	× 使えない ・放電・火花・発火の原因になります。 ・金串・金網・金箔・銀箔のフィルムやテープ、針金が入ったものも使えません。	○ 使える	
	アルミホイル 	× 使えない ・放電・火花・発火の原因になります。	○ 使える ・ただし、ヒーターに直接触れないようにしてください。また、必ず付属の角皿の上で使用してください。	
紙・木・竹	漆器 	× 使えない ・塗りがはげたり、ひび割れたりすることがあります。		
	紙・木・竹 	× 使えない ・加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 ・くぎや針金など金属を使用しているものは、放電・火花発火の原因になります。	× 使えない	× 使えない ・スチームの熱で破損するおそれがあります。
	クッキングペーパー クッキングシート クッキングパック 	△ ・クッキングシートは自動メニューで使うことができます。 ・発煙・発火することがあるので注意して使用してください。	○ 使える ・ただし調理方法によっては発煙・発火することがあるので注意して使用してください。 ※キッチンペーパーはクッキングガイドに記載している使い方に限り使用できます。	○ 使える

各部の名称

■正面

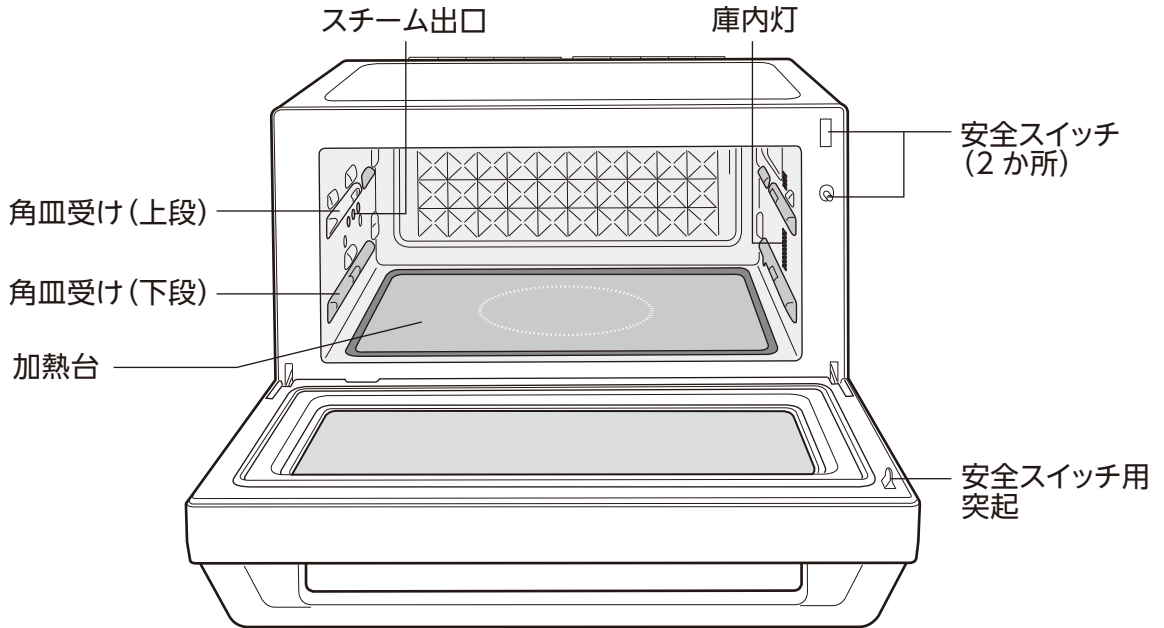


■背面



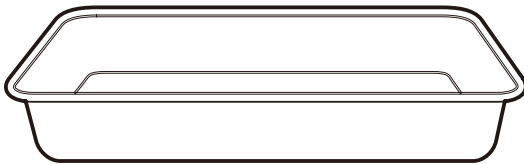
各部の名称

■内部



■角皿

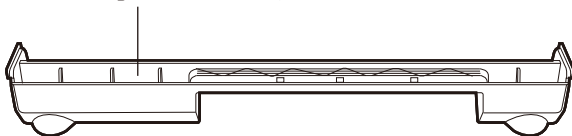
オープン・スチーム・グリル・発酵などで使用します。
表示部に「角皿不可」と表示されるメニューでは使用できません。
使用後に急冷すると、塗装剥がれや変形のおそれがあります。



■排水トレイ

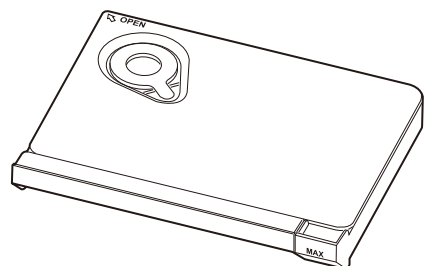
庫内にたまった食品カスや水を受ける容器です。
調理するときは必ず本体に取付けておいてください。

ここに水がたまります



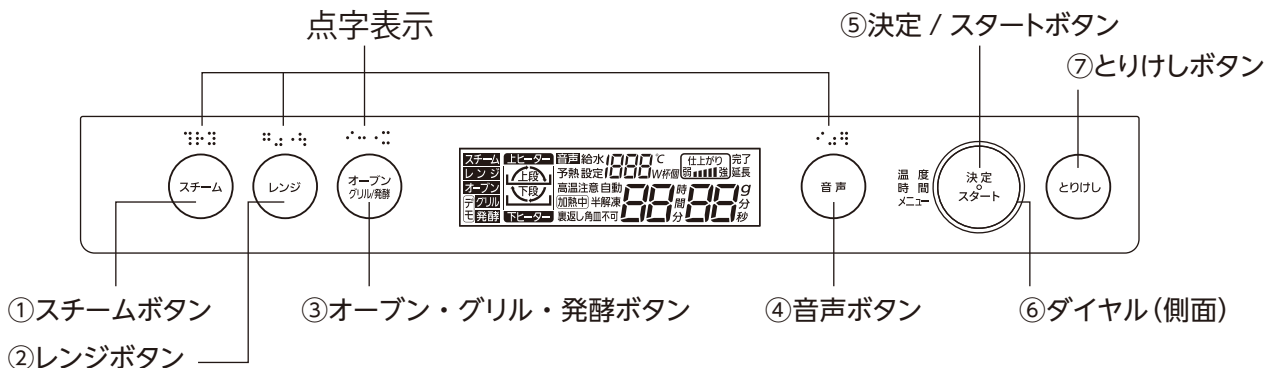
■水タンク

スチーム調理に使用する水を入れる容器です。
スチーム以外の調理メニューでも
本体に取付けておいてください。



各部の名称

■操作パネル



①スチームボタン

手動でスチーム機能を使うときに用います。
ボタンを押すごとに、スチーム温度を切り替えます。

100℃→90℃→80℃→70℃→60℃→50℃→40℃

④音声ボタン

音声の大きさを2段階で切り替えることができます。
ブザー音や、音声 OFF にすることも可能です。
調理中にボタンを押すと、終了までの残時間を音声で案内します。

⑤決定 / スタートボタン

調理メニューや各種設定を確定するときに押します。
LED 点滅中に押すと、調理開始されます。

②レンジボタン

手動でレンジ加熱機能を使うときに用います。
ボタンを押すごとに、レンジ出力を切り替えます。

1000W→600W→500W→200W→100W

⑥ダイヤル

自動メニューの選択や、手動メニューの温度や時間選択するときに使います。

③オープン・グリル・発酵ボタン

手動でオープン機能を使うときに用います。
ボタンを押すごとに、ヒーター加熱方法を切り替えます。

オープン→オープン(予熱)→グリル→発酵

⑦とりけしボタン

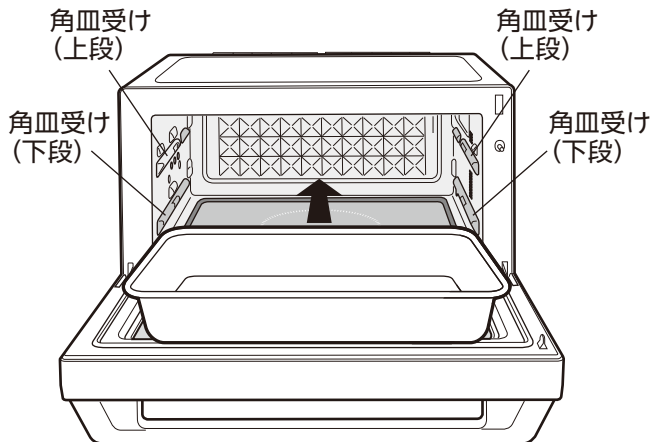
設定・操作中に押すと、設定が取り消されます。
加熱中に押すと、調理を中止します。

※調理中に状態を確認したいときは、扉を開けてください。

準備 から焼き

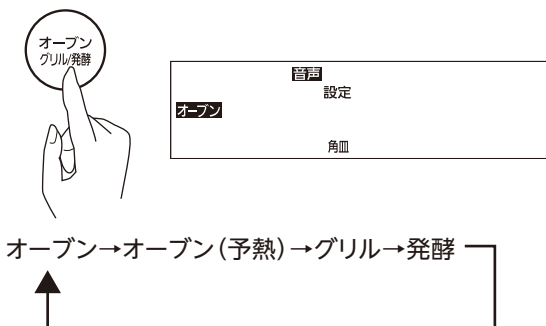
オープン・グリルを初めて使用するときに、煙やニオイが発生することがありますので、使用前にから焼きしてください。から焼きは換気しながら行ってください。小鳥などのペットは別の部屋に移しておいてください。

1. 扉を開けて角皿を入れる。

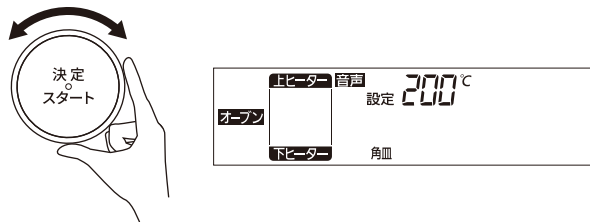


2. オープンボタンを押す

「オープンモード」にしてください。
ボタンを押すたびにモードが切り替わります。



3. ダイヤルで温度調整し200℃に合わせる



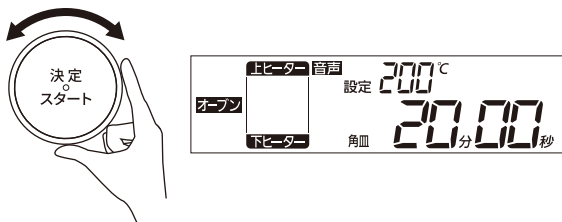
4. 決定 / スタートを押す

時間設定画面になります。



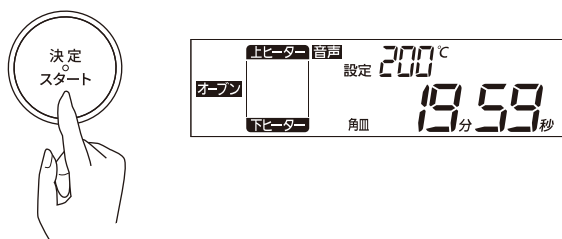
5. 時間を設定する

20分に合わせてください。



6. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

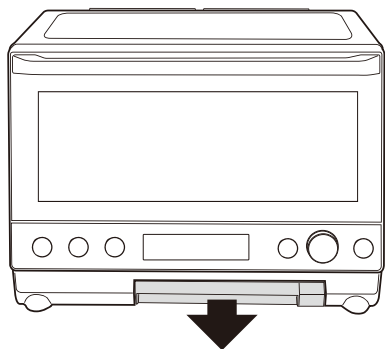
- 角皿が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 予熱中・加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

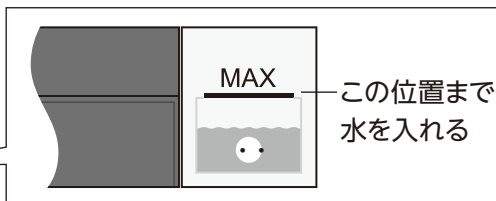
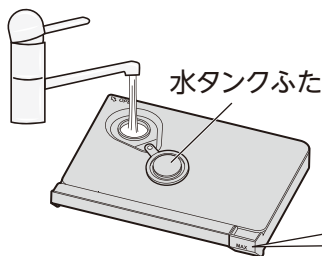
準備 スチーム調理

- ・スチームを使った調理の前には、水を水タンクにセットしてください。
- ・初めて使うときや、長期間使用しないときはお手入れを行ってください。
- ・水は水道水を使用してください。また、使用後の残り水は必ず捨ててください。
- ・浄水器の水・井戸水・アルカリイオン水は使わないでください。
- ・ミネラルウォーターは硬度の低い水(硬度100以下)を使ってください。

1. 水タンクを手前に引いて取りはずす



2. ふたを開けて水道水を入れる



- ・水タンクに残った水滴は拭き取ってください。
- ・水タンクを斜めにすると、水がこぼれるので注意してください。

3. 水タンクを元通りセットする

⚠ 注意

- 水道水以外の水は使用しないでください。
- 浄水器の水・アルカリイオン水・井戸水・ミネラルウォーターなどは腐食やニオイの原因になります。
- 調理後の残った水は捨てて、調理前に新しい水を入れてください。

音声ガイド機能とブザー報知について

本商品には、メニュー操作や調理中、調理後に音声でお知らせする「音声ガイド機能」があります。

- 設定中・・・「時間選択してください」「スタートを押してください」など、操作方法をアドバイスします。
- 調理スタート時・・・「6 自動トースト 1 トーストスタートしました」というように、設定したメニューをお知らせします。
- 調理中・・・調理中に音声ボタンを押すと、「あと〇分〇秒です」というように、残時間を音声でお知らせします。
- 調理後・・・「やけどにご注意ください」「完了しました」などでお知らせします。

■報知の切り替え方

設定中に音声ボタンを押すと、「音声 1」→「音声 2」→「ピ(ブザー音)」→「音声停止」のように音声でお知らせしてモードを切り替えます。

※調理中は音声を切り替えることができません。

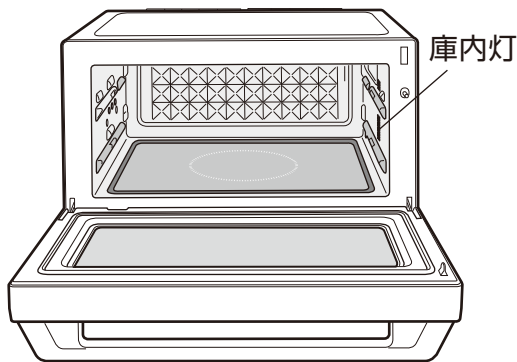
モード	内容
音声1	大音量で音声案内をします
音声2	小音量で音声案内をします
ブザー	ブザー報知をします
音声オフ	音声やブザーが鳴りません



使い方の基本

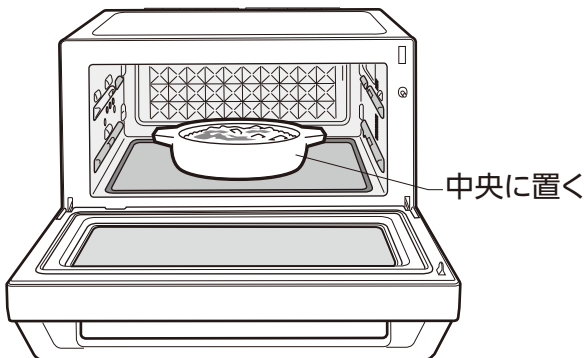
1. 電源を入れる

扉を開けると庫内灯が点灯し電源が入ります。
液晶は下図のような表示になります。



2. 食品を入れる

食品の量にあった浅めの耐熱容器に入れて
庫内の中央に置いてください。



オープン加熱の場合は角皿を使用します。

※食材は設定後の調理開始前に入れても構いません。

3. 扉を閉めて設定を行う

ボタン操作とダイヤル操作でメニュー選択を行って
ください。

メニュー決定後に、音声でメニューをお知らせします。



4. 調理を開始する

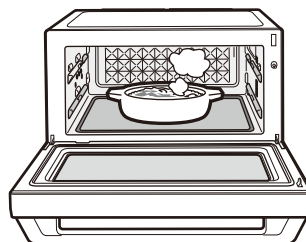
食品が入っていることを
再確認し、決定 / スタートボタンを
押します。



5. 加熱が終了したら、食品を取り出す

音声またはブザーでお知らせします。

扉を開けない場合は1分間隔で5分までお知らせ
します。



⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

■操作を取り消すには

操作中にとりけしボタンを押すと
操作は取り消されて最初の状態に
戻ります。
3分間操作をしなかった場合も
操作は取り消されます。



■加熱を一時停止するには

加熱中に扉を開けると、加熱が一時停止します。
扉を閉めて決定 / スタートボタンを押すと加熱を
再開します。

■加熱を停止するには

加熱中にとりけしボタンを押すと
加熱が停止され最初の状態に
戻ります。



■チャイルドロックについて

レンジボタンとオープン / グリル / 発酵ボタン
を同時に2秒間押し続けると、チャイルドロック
をかけることができます。

解除するには、同様の操作を行ってください。

チャイルドロック中は下の表示になります。



自動メニューについて 1～10

用途や分量に合わせて、自動で加熱するメニューです。
温度センサーで温度を検知しますので、時間や温度の設定が不要です。

次のような場合は手動メニューで加熱してください

市販の冷凍おかず・・・包装紙に記載されている加熱方法にしたがって手動メニューで加熱してください。

コーヒーや水など・・・手動のレンジ加熱で様子を見ながらあたためてください。

とろみのある食品・・・カレーやシチューなどとろみのある食品は控えめにレンジ加熱し、途中でかき混ぜながら様子を見てあたためてください。

ポップコーン・・・市販のレンジ調理用ポップコーンは包装紙に記載されている加熱方法にしたがって手動メニューで加熱してください。手づくりで調理される場合は、控えめにレンジ加熱し、様子を見ながらあたためてください。

■自動メニュー 一覧表 1～10

本書掲載ページ	表示番号	メニュー名	加熱方法				液晶表示	分量選択	使い方
			レンジ	スチーム	オープン	グリル			
P20	1	自動あたため	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 1 (仕上がり 音 角皿不可)	なし	常温や、冷蔵保管していたごはんやおかずをあたためるときに使用します。
P22	2	冷凍食品あたため	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 2 (仕上がり 音 角皿不可)	100g 200g 300g 400g 500g	冷凍保管させたごはんやおかずをあたためるときに使用します。
P23	3	解凍	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 解凍 3 (仕上がり 音 角皿不可)	100g 200g 300g	冷凍保管させた肉や魚などを料理の下ごしらえができるまでに解凍します。
P24	4	半解凍	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 半解凍 4 (仕上がり 音 角皿不可)	100g 200g 300g	冷凍保管させた肉や魚などを包丁が入りやすくなる状態に半解凍します。
P25	5	飲みもの(牛乳・酒)	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 5-1 (仕上がり 音 角皿不可)	牛乳・5-1 酒かん・5-2	常温の牛乳、酒を飲み頃温度に加熱します。
P26	6	トースト				○	液晶表示: トースター 設定 自動 6 (仕上がり 音 角皿不可)	1枚 2枚	常温の食パンをトーストします。 冷凍させた場合は仕上がり調理します。
P27	7	ゆで葉(葉物野菜)	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 7 (仕上がり 音 角皿不可)	なし	葉物野菜をしっかりと茹でたような仕上がりに加熱します。
P28	8	ゆで根菜	○				液晶表示: レンジ 設定 自動 8 (仕上がり 音 角皿不可)	なし	根菜を芯までやわらかく仕上げます。
P29	9	スチームレンジあたため	○	○			液晶表示: スチーム レンジ 設定 自動 9 (仕上がり 音 角皿不可)	100g 200g 300g 400g	肉まんやシウマイなど、レンジ加熱で中まであたためて、外側はスチーム加熱でしっかりと仕上げます。
P30	10	オープンレンジあたため	○		○		液晶表示: レンジ オープン 設定 自動 10 (仕上がり 音 角皿不可)	100g 200g 300g 400g	揚げ物、カレーパンなどの惣菜パンをカラッとあたためるときに使用します。

自動メニューについて 11～77

付属のレシピブックに掲載された料理を作るメニューです。本格的な料理を自動で調理してくれます。

レシピブックに記載している調理方法を 守ってください

分量や食材温度・室温によっては上手に仕上がらない場合があります。
仕上り調整していただくか、手動調理で様子を見ながら加熱してください。

仕上がり調節について

加熱時間や温度は自動で設定され加熱されますが、お好みによって仕上がり調節が可能です。調理スタート後にダイヤルで設定して加減してください。

調理終了後にさらに加熱したいとき

食材の状態によっては仕上がりに差が出る場合があります。
加熱不足の場合は手動で様子を見ながら調整してください。

調理途中のお知らせについて

マカロニグラタン(2人分：表示番号 30、3人分：表示番号 31) 親子丼(表示番号 65)については調理の途中でかき混ぜたり溶き卵を流し入れるために調理を中断します。音声またはブザーでお知らせします。扉を一度開けないと再スタートできません。

■自動メニュー 一覧表 11～38

レシピブック 掲載ページ	表示番号	メニュー名	加熱方法			
			レンジ	スチーム	オーブン	グリル
3	11	ツナともやしのナムル	○			
	12	キャベツとベーコンのトマト煮風	○			
4	13	じゃがコーンバター	○			
	14	きんぴらごぼう	○			
5	15	なすの煮びたし	○			
	16	ほうれん草のごま浸し	○			
6	17	豚とキャベツの梅蒸し		○		
	18	塩麴の蒸し鶏		○		
7	19	白菜とタラのとろろ蒸し		○		
	20	ラタトゥイユ	○			
8	21	蒸し野菜サラダ		○		
	22	ドライカレー	○			
9	23	エビピラフ	○			
	24	ローストビーフ			○	
10	25	ハンバーグ(2個・3個)			○	○
	26	キャベツドーム	○			
11	27	スペアリブ			○	○
	28	ローストチキン(2人分)			○	○
	29	ローストチキン(3人分)			○	○
12	30	グラタン(2人分)	○			○
	31	グラタン(3人分)	○			○
	32	シュクメルリ	○			
13	33	クリームシチュー	○			
	34	アクアパッツア		○		○
14	35	エビフライ		○	○	
	36	ミックスピザ			○	
15	37	スペイン風オムレツ			○	○
	38	チンジャオロース	○			

自動メニューについて 11～77 つづき

■自動メニュー 一覧表 39～77

レシピブック 掲載ページ	表示番号	メニュー名	加熱方法			
			レンジ	スチーム	オーブン	グリル
16	39	豚の角煮	○			
	40	焼き豚			○	
17	41	酢豚	○			
	42	回鍋肉	○			
18	43	麻婆豆腐	○			
	44	春巻き		○	○	
19	45	ルーロー飯	○			
	46	かに玉	○			
20	47	エビのチリソース	○			
	48	鶏のから揚げ		○	○	
21	49	豚のしょうが焼き	○			
	50	豚バラ大根	○			
22	51	ひと口とんかつ		○	○	
	52	茶碗蒸し (2個)		○		
	53	茶碗蒸し (3個)		○		
23	54	イワシの梅煮	○			
	55	サバの味噌煮	○			
24	56	ブリの照り焼き		○	○	
	57	サーモンのホイル焼き			○	
25	58	鶏の照り焼き		○		
	59	あさりの酒蒸し	○			
26	60	野菜のおでん	○			
	61	肉じゃが	○			
27	62	かぼちゃの煮物	○			
	63	赤飯	○			
28	64	牛丼	○			
	65	親子丼	○			
29	66	焼きいも		○	○	
	67	プリン	○			
30	68	カスタードクリーム	○			
	69	スイートポテト			○	○
31	70	りんごジャム	○			
	71	チョコバナナスコーン			○	
32	72	ドライフルーツのパウンドケーキ			○	
	73	チョコレートバーク	○			
33	74	プレーンとココアのクッキー			○	
	75	チーズケーキ			○	
34	76	そばかりんとう (ごま塩味)	○			
	77	フォカッチャ		○	○	

使い方 自動メニュー 1 自動あたため

レンジ加熱

角皿不可

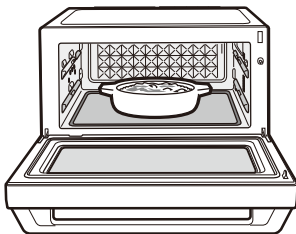
レンジ出力を使ってあたためる機能です。
付属の角皿や金属の容器は使えません。
1000Wで自動加熱開始しますが、3分以降は600Wに切り替わります。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食品は耐熱容器に入れて庫内中央に置き、扉を閉めます。あたため前の基準温度は常温(約20℃)です。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。ごはんやおかずをラップをするときは、密閉せず、すき間をあけてください。

2. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



3. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



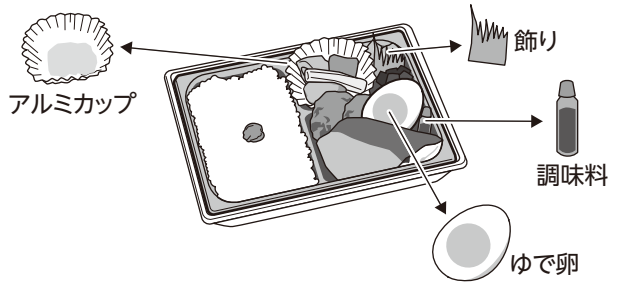
弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

- アルミカップや飾り、付属の調味料は取り出ししてください。
- 丸ごとのゆで卵も取り出ししてください。



⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出ししてください。
- 水分の少ないものや乾燥したものは、手動レンジで様子を見ながら加熱してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 レンジを使う自動あたためのコツ

レンジ加熱を使う自動メニューは、温度センサーで温度を検知しながら加熱します。温度センサーで正しく温度を検知するために、以下を守ってください。

レンジを使い、温度検知させる自動メニュー

自動1	自動あたため	ラップにはすき間をあける
自動2	冷凍食品あたため	ラップできっちりと覆う
自動3	解凍	ラップは使いません
自動4	半解凍	ラップは使いません
自動5	飲みもの	ラップは使いません
自動7	ゆで葉（葉物野菜）	ラップできっちりと覆う
自動8	ゆで根菜	ラップできっちりと覆う

1. ラップを正しく使う

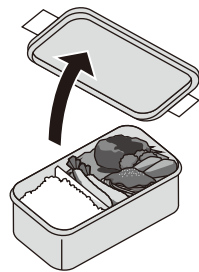
食品によってラップをする場合としない場合がありますので、各メニューの説明を確認してください。

おかずやごはんをあたためる時は、容器のふちにかかるラップはすき間をあけてください。（密閉しないでください）

2. フタは使わない

陶器製やガラス製などのフタをすると、温度センサーが食品の温度を正しく検知できずうまくあたためができません。

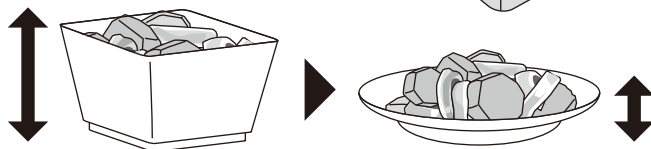
市販の弁当もフタを取ってあたためてください。



3. 食品の分量に合った容器のサイズを選ぶ

食品の分量に合わせて容器の大きさを変えてください。

容器はできるだけ浅めで口の大きいものを使ってください。



4. 角皿や金属製の容器を使わない



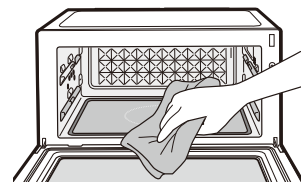
5. 種類や大きさの異なる食品を同時にあたためない

食品の種類によってあたため方が異なります。

食品の温度が異なるもの（常温のものと冷蔵庫で冷やしたもの）を同時にあたためるのも加熱ムラの原因になります。

6. 庫内に残った水分や食品カスなどを取り除く

食品の温度を正しく検知できない場合があります。発煙発火の原因にもなります。



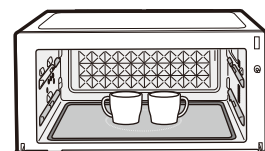
7. 続けて使用するときには、庫内を冷ましてから使用する

8. 少量の食品（100g 以下）は避ける

加熱ムラの原因になりますので、手動メニューで様子を見ながら加熱してください。

9. 食品は庫内の中央に置く

複数の場合でも、庫内の中央に寄せておいてください。



使い方 自動メニュー2 冷凍食品あたたため

レンジ加熱

角皿不可

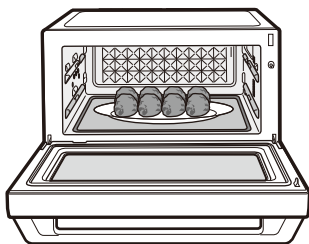
レンジ出力を使って冷凍した食品をあたためる機能です。
付属の角皿や金属の容器は使えません。
市販の冷凍食品は、パッケージの記載内容に従って手動加熱してください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します
食品は耐熱容器に入れて庫内中央に置き、扉を閉めます。
あたため前の基準温度は常温(約 20℃)です。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動2に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

冷凍食品あたためが決定されました。



4. ダイヤルを回して量を選択し 決定 / スタートボタンを押す

100、200、300、400、500g の5種類を選択できます。



5. 食品を確認して 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 水分の少ないものや乾燥したものは、手動レンジで様子を見ながら加熱してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー3 解凍

レンジ加熱

角皿不可

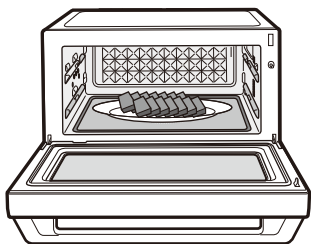
レンジ出力を使って肉や魚などを解凍し、料理の下ごしらえができる状態にします。付属の角皿や金属の容器は使えません。
市販の冷凍食品は、パッケージの記載内容に従って手動加熱してください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食材はラップをはずし浅めの発泡スチロールトレイに入れてください。
発泡スチロールトレイがない場合は耐熱性の平皿にキッチンペーパーを敷き、その上に置いてください。
食材の厚さは3cm以下を目安にして、できるだけ均一にしてください。
庫内中央に置き、扉を閉めます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動3に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

自動解凍が決定されました。



4. ダイヤルを回して量を選択し 決定 / スタートボタンを押す

100、200、300gの3種類を選択できます



5. 食材を確認して、決定 / スタートボタンを押す

解凍が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



解凍を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
解凍が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

注意

●100g以下の場合には煮えたり変色する場合があります。
●発泡スチロールのトレイは加熱し過ぎると溶ける場合があります。
●食材が小さすぎたり、重ねたりすると上手に解凍できません。
●解凍しかかっている状態では上手に解凍できません。冷凍庫から出したらすぐに調理してください。
●調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー4 半解凍

レンジ加熱

角皿不可

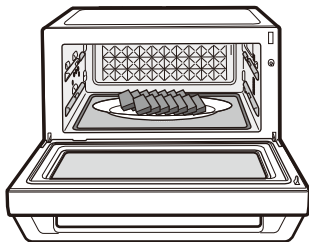
レンジ出力を使って肉や魚などを半解凍し、包丁が入りやすく、中が少し凍った状態にします。付属の角皿や金属の容器は使えません。市販の冷凍食品は、パッケージの記載内容に従って手動加熱してください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。食材はラップをはずし浅めの発泡スチロールトレイに入れてください。発泡スチロールトレイがない場合は耐熱性の平皿にキッチンペーパーを敷き、その上に置いてください。食材の厚さは3cm以下を目安にして、できるだけ均一にしてください。庫内中央に置き、扉を閉めます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動 4 に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

自動半解凍が決定されました。



4. ダイヤルを回して量を選択し 決定 / スタートボタンを押す

100、200、300g の 3 種類を選択できます



5. 食材を確認して、決定 / スタートボタンを押す

半解凍が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上の強弱を調整できます。



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



半解凍を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。半解凍が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

注意

- 100g 以下の場合には煮えたり変色する場合があります。
- 発泡スチロールのトレイは加熱し過ぎると溶ける場合があります。
- 食材が小さすぎたり、重ねたりすると上手に解凍できません。
- 解凍しかかっている状態では上手に解凍できません。冷凍庫から出したらすぐに調理してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー5 飲みもの（牛乳・酒）

レンジ加熱

角皿不可

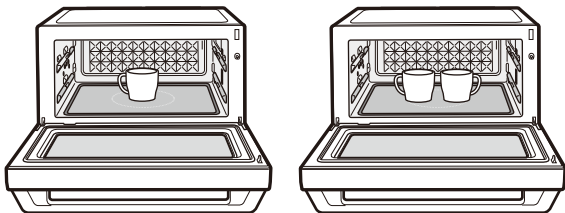
レンジ出力を使って常温の飲みものを飲みごろの温度に加熱します。
付属の角皿や金属の容器は使えません。
市販の冷凍食品は、パッケージの記載内容に従って手動加熱してください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食材は耐熱容器に入れて庫内中央に置き、扉を閉めます。
庫内中央に置き、扉を閉めます。
1杯の量は200mlを基準としています。少ない場合は沸騰するおそれがあります。
背が低く間口が広めの容器を使用してください。
容器の種類や量が異なるときは、手動のレンジで様子を見ながらあたためてください。



2杯の場合は中央に寄せてください

扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動5に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

飲みものが決定されました。



4. ダイヤルを回して

牛乳 5-1 / 酒 5-2 を選択し
決定 / スタートボタンを押す



表示	分類
5-1	牛乳
5-2	酒



5. 食材を確認して、決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。

左回転 右回転



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠️ 注意

●飲み物は加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。●加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。●必ず庫内中央に置いてください。加熱ムラの原因になります。●飲みものを加熱した直後は、取り出すときに突然沸騰することがあります。やけどのおそれがありますので加熱終了後しばらくたってから取り出してください。●調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー6 トースト（食パン）

グリル

角皿

オープン機能（ヒーター）を使って食パンをトーストする機能です。

付属の角皿を使います。

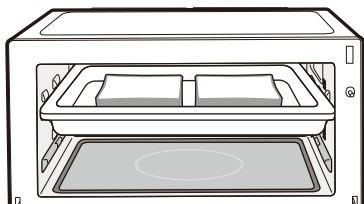
使用可能な容器については、「使える容器・使えない容器」(P9、10)をご覧ください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します
食材を角皿にのせ、上段の角皿受けにセットして扉を閉めます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動6に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

トーストが決定されました



4. ダイヤルを回して枚数を選択し 決定 / スタートボタンを押す

1枚または2枚の2種類を選択できます。

表示	分量
6-1	1枚
6-2	2枚



5. 食材を確認して、決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上がり調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。

冷凍した食パンを調理する場合は「やや強め」「強め」にしてください。

左回転 右回転



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。

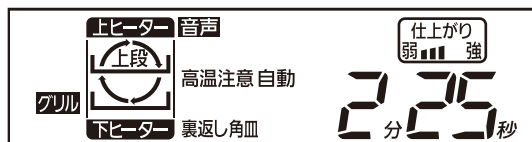
7. 裏返しする

音声またはブザー音で裏返しのお知らせ報知が鳴ったら、5分以内に裏返して決定 / スタートボタンを押し、再スタートさせてください。

加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

※一度扉を開かないと再スタートできません。

※お知らせ報知後になにもせず5分経過すると自動メニューを中断し調理終了となります。



⚠ 注意

●調理終了後、庫内や角皿は熱くなっていますのでトンやふきんなどで取り出してください。

●調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー7 ゆで葉（葉物野菜）

レンジ加熱

角皿不可

レンジ出力を使って葉物野菜（ほうれん草・キャベツ・ブロッコリーなど）をゆでる機能です。
付属の角皿や金属の容器は使えません。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食材は耐熱容器に入れてラップで包みます。
※蒸気が漏れないようにラップで容器をきっちりと覆ってください。
あたため前の基準温度は常温（約 20℃）です。
調理できる分量は 100～300g です。
食材は 3cm 以内に厚さをそろえてください。
※油分を多く含む野菜を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えるおそれがあるので注意してください。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動7に合わせて決定 / スタートボタンを押す



3. 食材を確認して、決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され
表示部に残り時間が
表示されます。



4. 必要に応じて仕上がり調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 繊維質の多い食材を加熱する時は、発煙・発火することがあります。手動レンジで様子を見ながら加熱してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー 8 ゆで根菜

レンジ加熱

角皿不可

レンジ出力を使って根菜(さといも・じゃがいも・かぼちゃ・にんじんなど)をゆでる機能です。
付属の角皿や金属の容器は使えません。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。

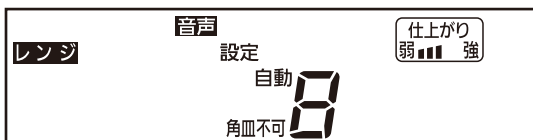


庫内灯が点灯します。
食材は耐熱容器に入れてラップで包みます。
※蒸気が漏れないようにラップで容器をきっちりと覆ってください。
あたため前の基準温度は常温(約 20℃)です。
調理できる分量は 100~300g です。
食材は 3cm 以内に厚さをそろえてください。
※油分を多く含む野菜を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えるおそれがあるので注意してください。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動 8 に合わせて決定 / スタートボタンを押す



3. 食材を確認して、決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され表示部に残り時間が表示されます。



4. 必要に応じて仕上がり調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 繊維質の多い食材を加熱する時は、発煙・発火することがあります。手動レンジで様子を見ながら加熱してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー9 スチームレンジあたたため

スチーム

レンジ加熱

角皿不可

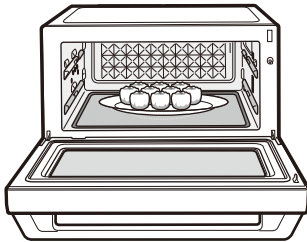
スチーム加熱とレンジ出力を組み合わせる調理です。付属の角皿や金属の容器は使えません。使用前に水タンクに給水してください。ラップはしないでください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。

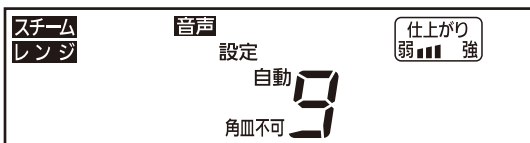


庫内灯が点灯します。食品は耐熱容器に入れて庫内中央に置き、扉を閉めます。あたたため前の基準温度は常温(約 20℃)です。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動 9 に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

スチームレンジあたたためを選択されました。



4. ダイヤルを回して量を選択して決定 / スタートボタンを押す

100、200、300、400g の4種類を選択できます。



5. 食品を確認して、決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠️ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー 10 オープンレンジあたたため

オープン

レンジ加熱

角皿不可

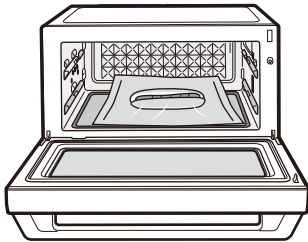
オープン加熱とレンジ出力を組み合わせる調理します。付属の角皿や金属の容器は使えません。ラップはしないでください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。食品は耐熱容器に入れて庫内中央に置き、扉を閉めます。あたため前の基準温度は常温(約 20℃)です。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して自動 10 に合わせる



3. 決定 / スタートボタンを押す

オープンレンジあたたためが選択されました。



4. ダイヤルを回して量を選択して決定 / スタートボタンを押す

100、200、300、400g の4種類を選択できます。



5. 食品を確認して、決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



6. 必要に応じて仕上がり調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上りの強弱を調整できます。



弱め やや弱め 標準 やや強め 強め



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠️ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 自動メニュー 11～77 レシピブックメニュー

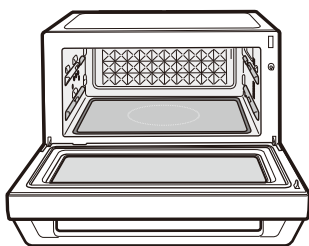
別添のレシピブックに記載した料理を自動で調理できます。詳しくはレシピブックを参照してください。
メニューによって加熱方法が異なります。「使える容器・使えない容器」(P9～10)を参照して容器を選んでください。
スチームを使用するメニューの場合は、調理開始前に水タンクへMAXまで給水してください。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食品は庫内中央に置き、扉を閉めます。
レシピによっては下ごしらえが必要です。
レシピブックにしたがって済ませておいてください



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. ダイヤルを回して希望のメニューに合わせる



※表示番号30グラタン(2人分)の場合

3. 決定 / スタートボタンを押す

メニューが確定されました。



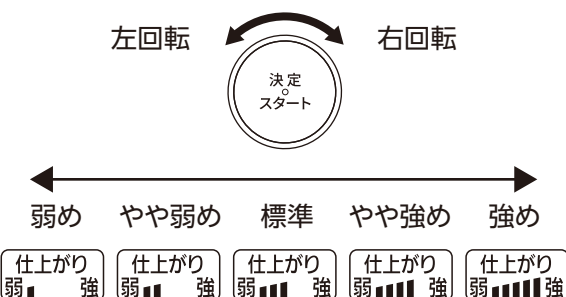
4. 食品を確認して、決定 / スタートボタンを押す

食品を入れていない場合は扉を開けて入れてください。
加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



5. 必要に応じて仕上り調整をする

設定が点滅している10秒間は、ダイヤルで仕上の強弱を調整できます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 手動メニュー レンジ

レンジ加熱

角皿不可

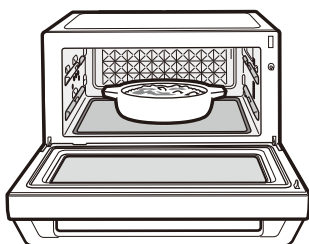
レンジ出力を使ってあたためる機能です。
付属の角皿や金属の容器は使えません。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食品は耐熱容器に入れて庫内中央に置き、扉を閉めます。
あたため前の基準温度は常温(約 20℃)です。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. レンジボタンを押す

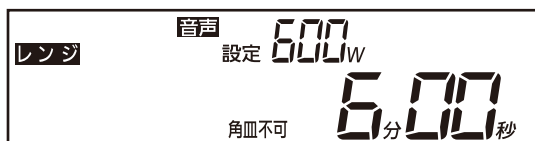
ボタンを押すたびに出力が切り替わります。



1000W→600W→500W→200W→100W



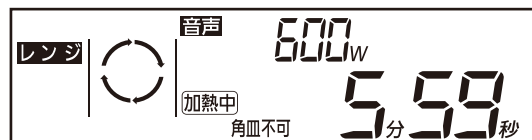
3. 決定 / スタートボタンを押してダイヤルで時間調整する



※1000Wの場合は3分以上は設定できません。

4. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。

加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。



⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 水分の少ないものや乾燥したものは、手動レンジで様子を見ながら加熱してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 手動メニュー レンジ

■加熱時間の目安

- ※1 冷凍ごはんや冷凍ピラフの仕上りが冷たい場合はよくかき混ぜてから10秒ずつ追加加熱してください。
- ※2 カレーは加熱しすぎると油成分が浮いて表面が高温になるため、食材を見ながら追加加熱をしてください。
- ※3 薄切り肉は100g当たり約1分20秒くらいを目安にしてください。
- ※4 分量が多い場合長い時間過熱すると表面が焼けてしまうので食材を見ながら追加加熱してください。
- ※5 解凍する食材の形状により表面と中心に温度差がでるため、フッキングペーパーを引いて途中で上下ひっくり返すと焼きむらが少なくなります。
- ※6 冷凍野菜をゆでる場合は形状や器への入れ方によって温度差が出るため、途中で裏返し様子を見ながら追加加熱してください。

レンジ(600W)

食品	分量	目安時間	ラップ	
ごはん	1杯(150g)	約1分	×	
ごはん(冷凍)	1杯(150g)	約2分30秒	○	※1
どんぶりもの	350g	約2分40秒	×	
ピラフ(冷凍)	250g	約4分30秒	○	※1
焼きそば	200g	約1分30秒	×	
肉まん・あんまん	100g	約40秒	○	
肉まん・あんまん(冷凍)	100g	約2分	○	
シュウマイ	6個(約100g)	約50秒	×	
シュウマイ(冷凍)	10個(約150g)	約3分	○	
惣菜パン	100g	約30秒	×	
天ぷら	150g	約1分	×	
フライ(冷凍)	4個(100g)	約1分30秒	×	
煮物・カレー	200g	約1分20秒	○	※2
煮物・カレー(冷凍)	200g	約6分	×	※2
ロールパン	2個(80g)	約20秒	×	
水	200ml	約1分40秒	×	
コーヒー	150ml	約1分30秒	×	

レンジ(100W)解凍

食材	分量	目安時間	ラップ	
肉 (かたまり肉)	100g	約5分30秒	×	
	200g	約10分	×	
	400g	約15分	×	※4
※3,※5	600g	約21分	×	※4
さしみ	100g	約4分	×	
	200g	約6分	×	
	400g	約9分	×	※4
	600g	約11分	×	※4

ゆで野菜(600W)

食材	分量	目安時間	ラップ
じゃがいも・さつまいも	150g	約3分	○
にんじん	100g	約3分30秒	○
	200g	約6分	○
だいこん	200g	約4分	○
ほうれん草	100g	約1分40秒	○
	200g	約2分	○
ブロッコリー・キャベツ	100g	約1分20秒	○
	200g	約2分30秒	○
さといも	100g	約2分40秒	○
かぼちゃ	150g	約4分	○

ゆで野菜(600W) ※6

食材	分量	目安時間	ラップ
さといも(冷凍)	100g	約1分45秒	○
枝豆(冷凍)	100g	約2分	○
かぼちゃ(冷凍)	150g	約3分	○

使い方 手動メニュー オープン (予熱あり)

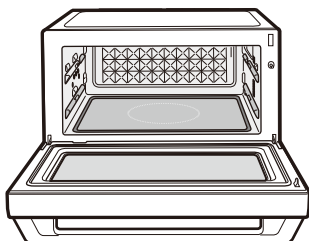
オープン

角皿

ヒーター加熱を使用します。
付属の角皿を使用します。

1. 電源を入れる

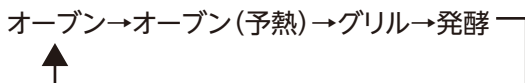
扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. オープン / グリル / 発酵ボタンを押しオープン(予熱)を選択する

ボタンを押すたびにモードが切り替わります。



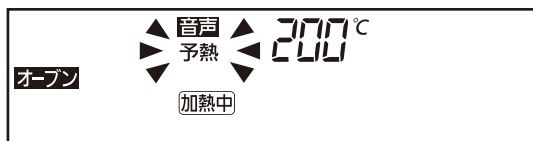
3. ダイヤルで温度調整する



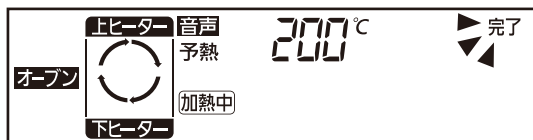
100~250°Cの範囲で設定できます。
※庫内温度が高いときは、100~210°Cの範囲で設定できます。

4. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始されます。
予熱の間は予熱が点滅します。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。

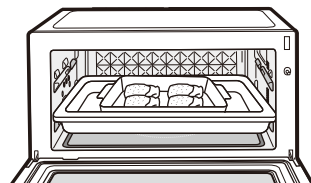


予熱が完了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

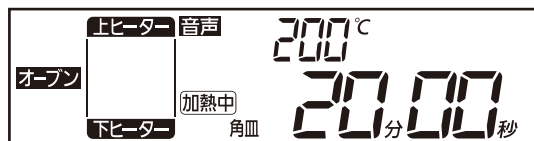
5. 予熱が完了したら、10分以内に食材を入れる

庫内灯が点灯します。

食品は耐熱容器に入れて角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして、扉を閉めます。



6. 時間を設定する

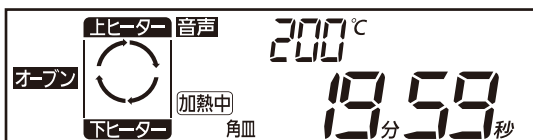


90分まで右のように設定できます。

0 ~ 1分	5秒単位
1 ~ 5分	10秒単位
5 ~ 10分	30秒単位
10 ~ 30分	1分単位
30 ~ 90分	5分単位

7. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。

加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。



⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 予熱中・加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 手動メニュー オープン

オーブン

角皿

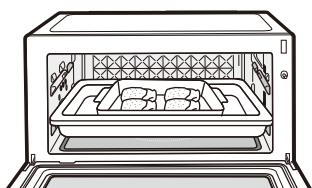
ヒーター加熱を使用します。
付属の角皿を使用します。
予熱はせずに調理を開始します。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食品は耐熱容器に入れて角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして、扉を閉めます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. オープン / グリル / 発酵ボタンを押し オーブンを選択する

ボタンを押すたびにモードが切り替わります。



オープン → オープン(予熱) → グリル → 発酵

3. ダイヤルで温度調整する



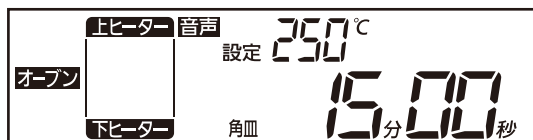
100～250℃の範囲で設定できます。
※庫内温度が高いときは、100～210℃の範囲で設定できます。

4. 決定 / スタートボタンを押す

時間設定画面になります。



5. 時間を設定する

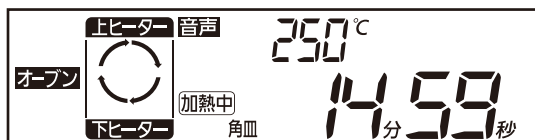


90分まで右のように設定できます。

0～1分	5秒単位
1～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30～90分	5分単位

6. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。



⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 予熱中・加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 手動メニュー グリル

グリル

角皿

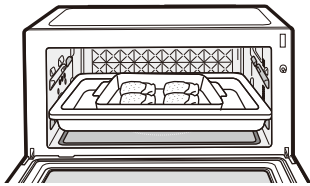
ヒーター加熱を使用します。
ヒーターの組合せにより3種類の加熱方法があります。
付属の角皿を使用します。温度は設定できません。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



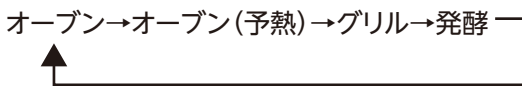
庫内灯が点灯します。
食品は耐熱容器に入れて角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして、扉を閉めます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. オープン / グリル / 発酵ボタンを押しグリルを選択する

ボタンを押すたびにモードが切り替わります。

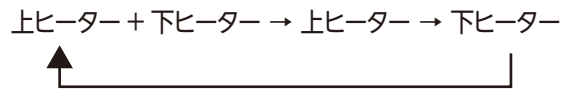


3. 決定 / スタートボタンを押す

グリルが決定されました。



4. ダイヤルでヒーター選択する

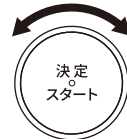


5. 決定 / スタートボタンを押す

時間設定画面になります。



6. 時間を設定する



30分まで右のように設定できます。

0～1分	5秒単位
1～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位

7. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。



⚠️ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 手動メニュー 発酵

発酵

角皿

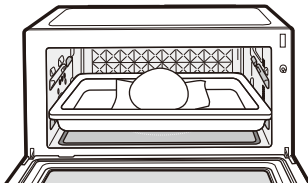
ヒーター加熱を使用します。
付属の角皿を使用します。
予熱はせずに調理を開始します。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食材は耐熱容器に入れて角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして、扉を閉めます。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. オープン / グリル / 発酵ボタンを押し発酵を選択する

ボタンを押すたびにモードが切り替わります。



オープン→オープン(予熱)→グリル→発酵



3. ダイヤルで温度調整する



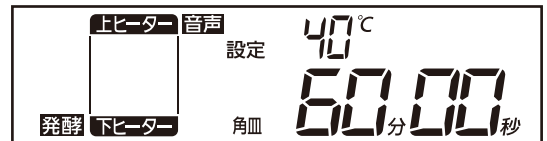
35、40、45°Cの3種類が選択できます。

4. 決定 / スタートボタンを押す

時間設定画面になります。



5. 時間を設定する



90分まで右のように設定できます。

0～1分	5秒単位
1～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30～90分	5分単位

6. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。
加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。



庫内温度が設定温度より高い場合は高温注意が点滅表示されます。
このようなときは、とりけしして庫内温度が下がってから再度設定してください。



⚠ 注意

●調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

ファン動作中でも続けて調理できます。

使い方 手動メニュー スチーム

スチーム

角皿

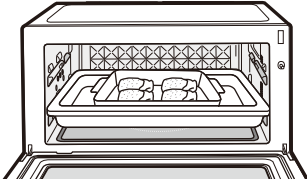
使用前に水タンクに給水してください。
角皿またはクッキングシートを使用します。

1. 電源を入れる

扉を開けると電源が入り、下のような液晶が表示されます。



庫内灯が点灯します。
食品は耐熱容器に入れて角皿にのせ、角皿を上段または下段の角皿受けにセットして、扉を閉めます。角皿を使用せず、クッキングシートに載せて庫内の中央に置くことも可能です。



扉を閉めた後、なにも操作しないと、約3分後に自動で電源が切れます。

2. スチームボタンを押す

ボタンを押すたびに温度が切り替わります。



100℃→90℃→80℃→70℃→60℃→50℃→40℃

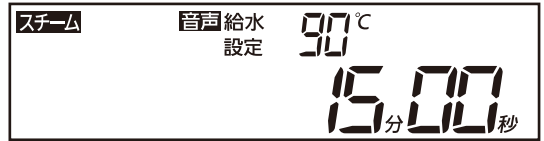


3. 決定 / スタートボタンを押す

スチームが決定されました。



4. ダイヤルで時間調整する

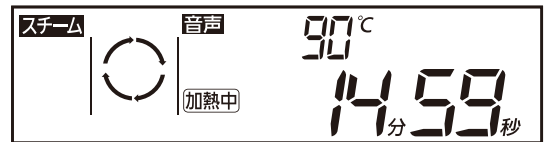


60分まで右のように設定できます。

0～1分	5秒単位
1～5分	10秒単位
5～10分	30秒単位
10～30分	1分単位
30～60分	5分単位

5. 決定 / スタートボタンを押す

加熱が開始され、表示部に残り時間が表示されます。



加熱を取り消すときは、とりけしボタンを押してください。

加熱が終了すると、音声または「ピー」音が鳴ってお知らせします。

⚠ 注意

- 容器が熱くなっていますので、取り出しには気を付けてください。ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。
- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなりますのでやけどに注意してください。
- 調理終了後、内部の電気部品を冷却するためにファンが回ることがあります。ファン運転中は電源プラグを抜かないでください。

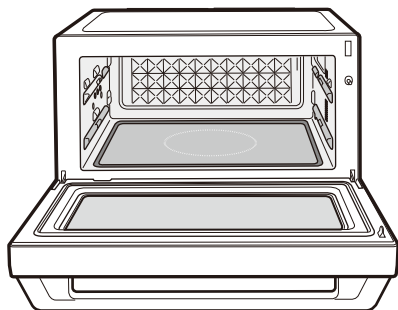
ファン動作中でも続けて調理できます。

お手入れについて

※使用する前に水タンクに給水してください。

1. 扉を開閉し電源を入れる

- ・扉を開けると電源が入り、庫内灯が点灯します。扉を閉めた後、何も操作しないと、約3分で電源が切れます。
- ・何も入れずに扉を閉めます。



2. ダイヤルを回してお手入れメニューを選ぶ



表示	メニュー	目安時間	洗浄内容
101	清掃	20分	庫内をスチーム+グリル+オーブンを使用して、汚れを落としやすくします。
102	ボイラー水抜き	18分	ボイラー内部を洗浄します。スチームの出が悪くなったときに使用してください。
103	庫内乾燥	15分	グリルとオーブンを使用して庫内を乾燥します。

※操作を取り消すときはとりけしボタンを押してください。

※3分間何も操作しなかった場合も操作は取り消されます。

⚠ 注意

スチームを使った洗浄の後には、本体全体が高温となりますので、やけどに注意してください。

3. 決定 / スタートボタンを押す

- ・洗浄が開始されます。
- ・表示部に残り時間が表示されます。
※とりけしボタンを押すと、加熱は停止して最初の状態に戻ります。



ボイラー水抜きのときは途中でお知らせ音が鳴って一時停止します。(15分15秒)

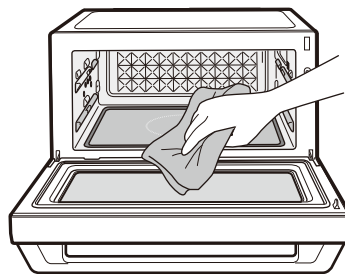
水タンクを取りはずして、再度決定/スタートボタンを押してください。

⚠ 注意

- 加熱中・加熱直後はガラス扉や庫内壁面が熱くなるのでやけどに注意してください。
- 特にボイラー水抜き後は庫内が熱くなりますので注意してください。

4. 洗浄が終了したら、庫内を拭く

- ・洗浄が終了すると、「ピッ」と5回鳴ってお知らせします。
- ・庫内をよく拭き取って清掃してください。
- ・排水トレーを取りはずして、たまった水を捨ててください。
- ・ボイラー水抜き後は、水タンクを忘れずに取り付けてください。



⚠ 警告

庫内の拭き取りは庫内が十分に冷えたことを確認してから行ってください。 ※やけどの危険あり

お手入れについて

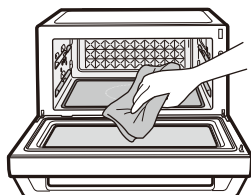
⚠ 注意

お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
食品の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。
使用後は早めにお手入れしてください。
みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

■ 本体・庫内

よく絞ったふきんで拭く。

汚れが取りにくいときは、お手入れメニューの(101)清掃(→43)を使用してください。



お願い

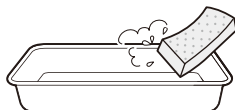
- ・周囲のシリコンパッキンや庫内塗装面はキズが付くのでこすらないでください。
- ・金属たわしや先のとがったものでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。キズついたり、割れることがあります。

⚠ 注意

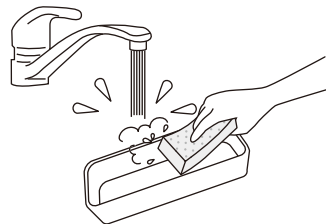
庫内は汚れがついたままにしないでください。火災の原因になります。

■ 角皿

- ・薄めた食器用洗剤で洗い流す。
- ・洗ったあと、よく乾かしてください。



- ・落ちにくい汚れは、ぬるま湯につけ置きしてから洗ってください。
- ・汚れが気になるときは、食器用洗剤(中性)で洗ってください。
- ・角皿に水けが残っているとサビが付くことがあります。
- ・角皿の汚れが取りにくい場合



お願い

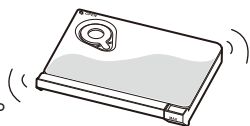
食器洗浄乾燥機や食器乾燥機に入れたり、乾燥させるときに直射日光にあてて乾燥させないでください。変形破損の原因になります。



メラミンフォームスポンジ
(洗剤を使わないタイプの白いスポンジ)でこすって落としてください。

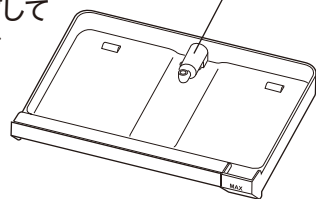
■ 水タンク

- ・調理後、水を捨てる
- ・時々、水を入れて振り洗いする
- ・洗ったあと、よく乾かしてください。

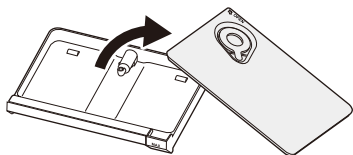


水タンク内の吸込み口部分のソケットを取りはずして洗浄および乾燥が行えます。

ソケット



※カバーをはずして洗うこともできます。
スポンジなどで洗い、水で流してください。



お願い

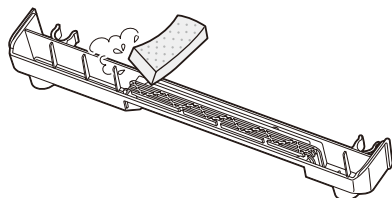
食器洗浄乾燥機や食器乾燥機に入れたり乾燥させるときに直射日光にあてて乾燥させないでください。変形、破損の原因になります。

お手入れについて

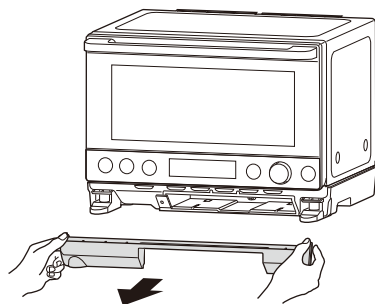
■排水トレイ

スチームを使用した後は、たまった水を捨ててください。

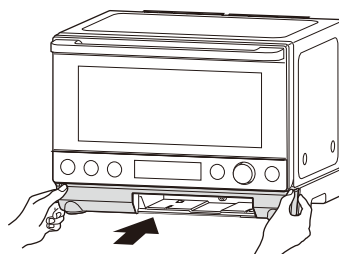
水を捨てた後は流水で洗い、水滴はよく拭き取ってください。



排水トレイを取りはずすには水タンクをはずしてから、排水トレイの左右を持って、手前に引いてください。



排水トレイを取り付けるには排水トレイの左右を持って、奥まで確実に差し込んでください。



⚠ 注意

排水トレイ・水タンクは必ず取り付けて使用してください。

長時間使用しないとき電源プラグを抜き、各部をお手入れしてから、乾燥処理を行ない、湿気やホコリがかからないようにして、保管してください。

エラー表示について

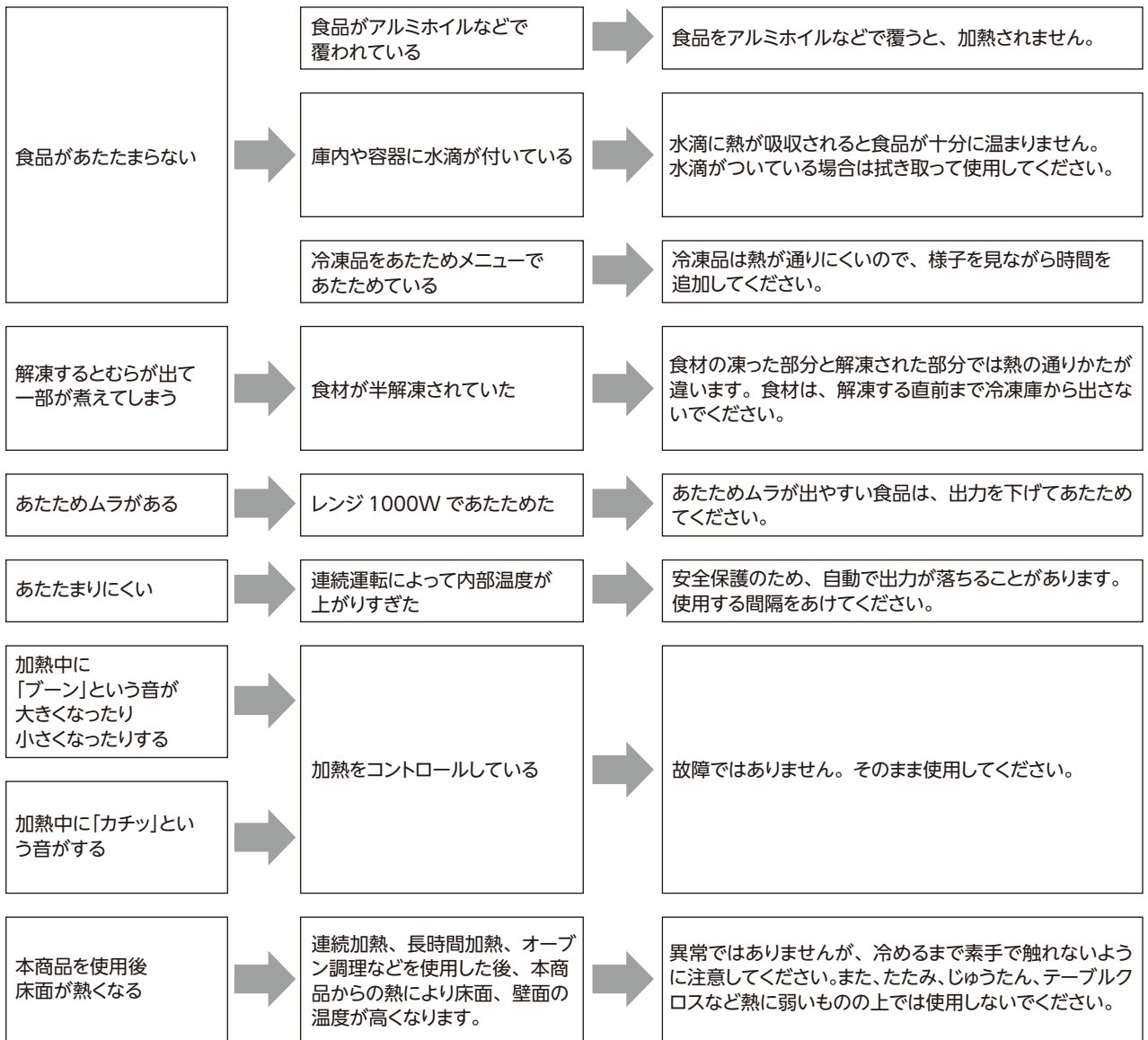
画面表示	異常の内容	原因	処置について
高温注意	庫内温度が非常に高い	調理による内部温度上昇	扉を開けて庫内温度を下げてください。
給水	水タンク給水検知	水タンクの残水量不足	水タンクに給水してください。
E01	庫内温度センサー異常	庫内温度センサーの断線	使用を停止し、トップバリュお客さまサービス係へ連絡してください。
E02		庫内温度センサーのショート	
E03	ヒーター通電異常	ヒーターの温度が上がらない	
E05	異常温度上昇	内部が高温になっている	
E21	スチーム温度不足	スチームヒーターの通電不良	
E22	スチーム温度センサー異常	スチーム温度センサーの断線	
E23		スチーム温度センサーのショート	
E11~18	通電異常	基盤・回路の故障	

故障かなと思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよく読み、以下の点を確認してください。

扉を開けても電源が入らない	電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	電源ブレーカーが入っていない	安全を確認の上、電源ブレーカーを入れてください。
ボタンを押しても反応しない	電源が切れている(表示が消えている)	扉を開けて電源を入れてください。
	チャイルドロックされている	チャイルドロックを解除してください。(→P16)
加熱中に電源が切れる(ブレーカーが切れる)	使用できる電源の量を超えている	他の電気製品のスイッチを切る、別のブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	扉がしっかり閉まっていない	扉をしっかり閉めてください。
音声ガイドが鳴らない	音声ガイドが切になっている	音声ボタンを押して音声ガイドを入りにしてください。(→P13)
1分ごとに、5分までお知らせ音が鳴る	調理後、食品を取り忘れている	扉を開けると音は止まります。庫内の食品を取り出してから、扉を閉めてください。
火花が出る	アルミホイルを使用している	レンジ加熱ではアルミホイルは使用しないでください。(→P10)
	金銀模様のある容器を使用している	金銀模様のある容器は使用しないでください。(→P10)
	庫内に食品かすなどが付着している	庫内をお手入れしてください。(→P44)
煙が出る、ニオイがする	初めて使用する前から焼きをしていない	初めて使用する前から焼きをしてください。(→P14)
レンジ加熱中扉に水滴がつく	食品から出た水蒸気が扉に結露する	故障ではありません。結露したときは、ふきんで拭き取ってください。
加熱が終了してもファンの音がする	加熱が終了した後も内部を冷却するためにファンが回る	内部が冷却されるまでお待ちください。電源プラグは抜かないでください。

故障かなと思ったら



仕様

電源		AC100V 50/60Hz 共用
レンジ	定格消費電力 定格高周波出力 発振周波数 タイマー	1430W 1000W/600W/500W,200W 相当,100W 相当 2450MHz 5秒～90分
グリル	定格消費電力 タイマー	1420W 5秒～30分
スチーム	定格消費電力 タイマー	1370W 5秒～60分
オープン	定格消費電力 温度調節 タイマー	1420W 35/40/45℃(発酵)、100～250℃(庫内温度が高いときは210℃まで) 5秒～90分
外形寸法 加熱室の有効寸法 庫内総容量 ^{※1} 製品質量 (付属品含まず) 電源コード長さ 区分名 ^{※2} 電子レンジ機能の年間消費電力量 ^{※3} オープン機能の年間消費電力量 ^{※3} 年間待機時消費電力量 ^{※3} 年間消費電力量 ^{※3}		幅468×奥行き383×高さ337mm 幅387×奥行き310×高さ180mm 23L 16.5kg 1.5m B 57.4kWh/年 12.3kWh/年 0.0kWh/年 69.7kWh/年

※1 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※2 区分名は、家庭用品品質表示法および省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※3 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食品の量によって左右されます。

コンセントに電源プラグを接続した状態で、表示部が消灯しているとき（待機時）の消費電力は0Wです。

※商品の仕様は予告なく変更する場合があります。

アフターサービス（必ずお読みください）

1. 保証書の内容のご確認と保管について。

この商品には保証書がついています。保証書はお買い上げの販売店にて販売店名・お買い上げ日などの記入をご確認の上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 保証期間後に修理を依頼される時は・・・

お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご要望により有料で修理いたします。

4. 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 8 年間です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理依頼、消耗品のご購入は、お買い上げの販売店、または「トップバリュお客さまサービス係」にご相談ください。修理品は、持ち込み修理となります。

6. ご使用中に普段と変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止して、点検・修理をお買い上げの販売店、または「トップバリュお客さまサービス係」にご相談ください。

7. アフターサービスについてわからないことは・・・

アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「トップバリュお客さまサービス係」にお問い合わせください。

商品の譲渡・リサイクル品については、保証適用を受けられない場合があります。ご注意ください。

品番	HC-TS231-WH		
※お買い上げ日	年	月	日
保証期間	本体 1年		
※お客さま	ご住所 ご芳名	様	電話 () -
※販売店	住所 店名		電話 () -

※印欄に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店で無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入してある販売店に修理がご依頼できない場合には、下記のトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) 落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 本書の提示がない場合。
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書再発行はいたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

修理メモ

※この保証書は本書に表示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記のトップバリュお客さまサービス係にご相談ください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」をご覧ください。

愛情点検

●長年ご使用の「かんたんスチームオーブンレンジ」の点検を！



このような症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 異常な音や焦げくさいニオイがする。
- その他異常や故障がある。
- さわると電気を感じる。
- ドアや庫内に著しい変形がある。
- スタートしても加熱しない。
- 加熱終了しないときがある。

ご使用中止

事故の防止のため、電源プラグを抜き、必ずお買い上げのお店に点検（有料）を相談してください。

●中国製

販売者 **イオン株式会社**

〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1

●トップバリュお客さまサービス係

TEL.0120-30-1580 (10~17時:日曜日は除く)



未来に森を残すため
FSC® 認証材および管理原材料
からつくられています。